夕刊
磐城日報
平市白銀町十一　發行所　磐城日報社　電話（一一）番
編集發行人　後藤幸夫
印刷人　丸山徳平
毎週水曜日休刊
購讀料　一部一円　一ヶ月三十円

失業攻勢深刻化す
交渉はざつと五十數回
一日平均半數がアブレ

郡下各自由勞組の五月十三日以降現在迄の平職安所に押しかけた交渉回數はざつと五十數回、交渉者數は一千十六名に及んでおり、内譯すると次のようだ（括孤内は交渉回數）

△平（十一）首切り反對、賃上げ

△内郷（九）なぜ檢束したか常備をなくせ、アブレの即時解消、七月平事件の幹部連大學就勞八月七、八、九日出張員連日吊し上げ、九日係員二名を毆打重傷を負い警官四十名が出動

△好間（十）整理反對とその即時徹回、七月一日被整理者六十名が押しかける

△赤井（七）南部小間廻制を認めよ、ワクの擴大、

○北部（三）ワクの擴大　失業保險金受給資格まで働かせろ

△勿來（三）ワクの擴大

△石城自由勞組連合會二、四半期のワク擴大、平均賃金を二百圓に上げよ小名浜港に失業對策事業を起せ

△山田（六）幹部連は左翼思想者で占め連日係員に交渉する等失業攻勢は加速度的に熾烈化しているが十一日現在各地區のアブレは内郷の三百余名をトップに平百四十五、好間九十、勿來七十二、赤井七十二湯本（三十三）の順である、また登錄者數は二千五百十二名、うち一日平均紹介數は一千五百九十六名で約半數がアブレしている現狀であるが、各地區別の一ヶ月平均就勞狀況は赤井の十三日、平、勿來（十五）内郷（十六）好間（十七）湯本（十八）

夏秋蠶の出荷始まる
掛値協定は九月上旬

夏秋蠶の出荷は去る十二、十四の兩日川前村の千貫を皮切り永戸、三阪方部が出荷を始め今月中には殆んど終了するものと見られている、尚去る十五日石城農業會館で開かれたサン業指導技術員會議で夏秋サンの繭價格につき次のような内渡し金を決定、全出荷完了のこ本月末か九月上旬には掛目協定が成立する模様である

△上繭　貫當り千圓
△玉屑繭　〃八百～七百五十圓
△屑マユ　〃七百～六百圓

また今後絹糸の上昇が豫想され右價格より約五十圓前後を上廻る見込みである、

車中で靴盗まる

十七日平發午前四時常磐線下り二一一列車で相馬郡小高町南小高九五大和田栄さん（二六）はアミ棚に置いた黒皮短靴一足時價三千六百圓程度を盗まれ平公安室に屆出た

悪質な賃金未拂
近く勞基署で送檢

平勞基署では内郷町金坂地内木材伐採業、土屋藤四郎（四〇）を悪質な勞基法違反者として近く送檢する同人は去月七日平職安の斡旋により一日二百圓の割で平市久保町十二石井正雄、内郷町綴字堀坂二二四鈴木金作、平市南町四九川越一男の三名をそれぞれ同月十日より九日間稼働させ賃金一人當り千八百圓計五千四百圓相當を仕拂わず逃走していたもの尚福島署では詐欺横領よう疑者として手配中であつたが過日同署に檢擧

各方部に赤痢續發
數日間に六名を出す
小名、湯本に檢便班出動

こゝ數日間好天候が續いたためか赤痢發生は關係當局の必死の防疫も空しく各地に散發し、十四日好間村小館、池田友子（6）草野村大字泉崎字前原金田久雄（4）十五日江名町大字江名字北町八一坂本エツ子（4）十六日小名浜町岡小名字前原市村初枝（3）はそれぞれ疑似赤痢と決定、大浦村狐塚猪狩ハツ子（3）は十五日疫痢で死亡、平市八幡小路六〇長瀬英直（4）は十七日疑似疫痢でそれぞれ隔離された尚平保健所では十七日檢便班三班が湯本、小名浜地區に出動、約三百人の要注意者に對し檢便を實施した、

九月上旬より着工か
保健所新設きまる

既報、保健所新設問題をめぐり昨十六日橋衛生部長と三市長との面談の結果、縣側の廳舍敷地四百五十坪に減ずることにより、市側も漸く納得同問題も無事落着したこれについて青沼保健所長は次のように語つている

同廳舍は市役所南側に總工費八百万圓投じ建設する、国庫補助金四百五十万圓（縣費を含む）殘額は百五十万圓を各町村から、また二百万圓は關係業者から寄付して戴く考えでいるが、廳舍には特に細菌檢査室を完備させ、内容の充實したものにしたい、九月中旬には着工の豫定だ

企業診斷で融資

十四、十五の兩日平市役所會議しつで開かれた縣下五市經濟連絡協議會では縣郷沼商工課長が出席、中小商工業資金對策、主食登錄制等について協議したが商工業の資金對策については融資方を縣に陳情、縣では中小企業診斷に基き信用保證協會等を通じ融資する旨回答をした

郡下農協組
19日地方事務所で經營對策協議會

經濟狀態の變動により經營の危機に瀕している石城地區農協組では來る二十九同組經營對策協議會を地方事務所會議室で開き經營不完全な組合を經濟事情に即應した業務の合理化をはかることになつた

（株式速報）

船舶紡績株に概況引續いて買人氣が集りその他食品株の一部が買われ他は持合の商狀十七日午前十一時半現在　平和証券調べ（單位圓）

日石	九二	日鑛	六六
昭和油	五八	帝石	六二
日化藥	六三	三井造	一六五
日立造	五五	日平産	三一
精工	四五	洋ベア	四四
鐘紡	一六一	東洋紡	一三三
富士紡	一〇四	大日紡	一九六
片倉	七八	郵船	一九〇
商船	一三一	三井船	一一〇
東海上	五四〇	鋼管	七〇
東邦鉛	五八	日麥酒	四七〇
日本セ	八八	磐城セ	一九〇
帝人	一八三	東洋レ	一五六
旭化成	一〇四	日立	三七
キリン	二六〇	日清紡	三二五

内科　皮膚科　性病科
平市縣社下　矢吹醫院　電番 1193 1295

良き印刷は
◉平驛前・マルヤマ印刷所

◉14日より20日まで◉
サッ！とはづしたダブルのボタン!!
鐵火仁義の男ぶり
東海道は兇状旅（いそぎたび）
藤田進　岸旗江　相馬千恵子
世界館

★ナイトショウ★
18日 → 20日
戰慄を呼ぶ夜の訪問者
血で染めた夜會服！
フランス映画　血痕
ピエールフレネエ
平館

28日迄
★夏☆祭☆共☆賛★
中元大賣出し
19.20.21の七夕に御來店のお子様に御土産を差上ます
衣料品の店　かみや　平市二丁目　電二五六

各業者販賣に血眼
カストリ氾濫に
清酒押されぎみ

郡下酒小賣店三百五十からめか燒酒は押すな〳〵の町折笠ヒサ子(21)を脅迫した疑いによるもの、尚十四日暴力容疑で一齊檢擧した平市一町目目傭矢吹久太郎(29)ら九名は十六日正午暴行、脅迫、傷害容疑でそれぞれ身柄送檢した、又その後の余罪がゾク〳〵判明した模様

草野にヂフテリヤ

草野村絹谷字杉平鈴木良子ちやん(四ツ)は十五日發病十六日ヂフテリヤと決定した

イタヅラ中學生

レール上に茶碗大の石

十六日午後三時三十分常磐線中村、新地驛間三百十一粁地点に茶わん大の石一個がレール上に置かれているのを巡回中の線路工手が發見、同日新地線路工手森貢吾さんは容疑者の中學生某(一四)を捕え、自白したところによればイタヅラに石を置いたもの

平驛構内で

二千圓スられる

十六日午後三時五分平驛發常磐線上り二二〇列車に乘ろうとした伊達郡伊達町本町一七理髪業樋口敬治さんは平驛構内で現金二千二百圓をスられ平公安室に届出た

街の暴漢又も檢擧

九名は送檢

十六日午後九時平市署では十五日午後九時ころ逃走中の街のダニ平市南町無職村上正(21)を脅迫容疑で逮捕した、同人は去る六月廿四日平驛前廣場で十圓をスられ平公安室に届出た

◇…(茨城)人命救助で表彰された例はしば〳〵見られるがこれは猛牛を救つて表彰される變り種、茨城縣取手地區署及び北相馬町消防團では同團員野口充之助さん他七名を水害救援の範として縣へ表彰方を上申した、野口さん七名は去る十一日同郡六鄕村農業福田敬さん方の飼牛一頭が濁流うづまく同家倉庫内に四日間も給食が斷たれ一本の草も食わない牛は假死寸前から網を食い切りモーゼンと暴れ出し、水害に避難した人たちの群にアハヤ飛び込まんとするのをカウボーイのようにおさえ人命と牛命を救つたもの

◇…(宮城)仙台市廣瀬川の牛越橋附近を市會議員一同が視察したところ流れの中に墓石がごろ〳〵しているのを發見、調査の結果、さきごろの水害で流された橋の橋脚の台に墓石を使用していたことがレキゼンとなり一同アゼンとした、どこの墓石やら判明しないが、いずれにせよ無縁佛だろうと見られ「いくらなんでもこれぢや浮かばれまい」

ニュース（東西）

名刺は専門店で
古市名刺印刷専門店
平市公會堂わき

冷いビール
洋酒 日本酒
スタンド おぐら（加代）
平市田町福壽軒隣

岐阜提灯 大内行燈
豊富に取揃へ勉強致します
新盆提灯の戒名入れは成可くお早く願います
三町目叶星提灯店
加藤商店

呼吸器病 心臓病 腎臓病
腹心
藥品と塗料各種
阿部藥舗
平市銀座通り

德用牛肉
百匁八十圓
綠屋牛肉店
電794・53'9

美容＝容理
椅子 鏡器具 材〻料
直マルナ
龍軒
平局横丁角

「わきが」
知人に喜ばれる手當法
御知らせします
阿康 あこう藥局
平市銀座 電四四

呼吸器科
內科 小兒科
平市搔槌小路
電一一八七番
和田医院

お盆に肖像画を
おすゝめ致します
寫眞よりは安値ですから一度御相談下さい
平市五丁目
菊水肖像画院

ライト ユートピアンゾル
ライト
万年筆用 專賣特許
魁文堂
釜久屋

呼吸器科
內科 小兒科
平市古カヂ町（縣社下）
後藤醫院
電1036

三町目の中元福引大売出し
一等 自轉車 タンスラヂオ 外六等迄空籤なし
期日 新8月16日より25日迄 舊7月3日より12日迄
御買上 100円毎に福引券一枚差上ます 50円毎に補助券一枚差上ます